

新潟県妙高市燕温泉 湯たびの報告

実施日 ・令和 7 年 11 月 25 日(火)～26 日(水)

参加者 ・植木、飯塚、開原、中込、中村、幹事宮本の6名

秘湯の宿 :燕温泉 樺太館

今回の湯たびの会は、紅葉にはやや遅いが3連休を避け温泉と料理は楽しもうと計画を立て実施しました。

新百合ヶ丘駅集合の5人と東京駅合流の計6名で、予定通り10:33発の上越新幹線はくたか号で上越妙高で下車、新幹線大宮駅でほぼ満員は、想定外でしたが道中はすべて座れて楽でした。関山線に乗り換え関山駅で下車、市経営のコミュニティ風のバス妙高めぐりん号で宿泊地の樺太館玄関前に15時前に到着。



燕温泉のいわれは昔イワツバメの群れが飛び交っていた、そして樺太館は主人の先々代が樺太に行った時のことを忘れずに記憶するために命名したとの事。

到着後は恒例のジャンケンで3人づつ 2 部屋に。

サービスの柚餅子(ゆべし)とお茶で休憩後温泉へ。



温泉は PH6. 6の弱酸性で湯の花が浮かび白濁・適温。ややぬるめの露天風呂もあり快適。夕食前と早朝の二度満喫しました。

夕食の料理は珍しくお刺身が無しで山菜・キノコ中心で十分満足。
酒飲みコース(妙高・上越の利き酒6種)を選択し、ビールで乾杯後は各自に配られた
おちょこ 4 個でチビチビと。普段はあまり呑めない人も次々と出てくるお酒を少しずつ
頂きほろ酔いに・・・



いつもは夕食後に次回の予定を話し合うのが、今回は夕食前に時間があり決まっていたこともありそれぞれ寢床へ・・・すぐに爆睡。

翌日は高田城などの観光も検討していたが雨模様につき上越妙高駅でお勧めの地元上越名物?のあんかけラーメンで昼食・お土産を買って早めに帰途へ。

それぞれ3時前後には帰宅帰宅したようだ。

次回は2月26～27で山形県の肘折温泉を予定。



・・・今回の幹事 宮本 記・・・